

別紙3 (様式第8号添付用)

提案型協働事業報告書

<p>1 該当する町の施策方針</p>	<p>「22のめざすべきまちの姿」 安心して子どもを産み育てることができるまち 「61の施策方針」 地域ぐるみで子どもを育てる</p>
<p>2 解決へ向けて取り組んだ地域課題</p>	<p>武豊町は子育て支援団体がとても少なく、既存団体も交流が乏しく、構成員は減少・高齢化の一途を辿っている。少子高齢化が進む中、次世代を担う子どもを地域で育てていくために、まちづくり団体の中でも「子育て支援」分野を強化したい。</p>
<p>3 協働対象部署</p>	<p>子育て支援課・健康課</p>
<p>4 事業の内容等</p> <p>(1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他</p>	<p>(1) 講座開催(全3回) 1回目 15名 2回目 14名 3回目 18名 武豊町子育て情報紙発行(1回) *講座内容詳細別紙 *情報誌別紙 (2) 武豊町中央公民館 第3, 4会議室 (3) 武豊町で子育て支援の活動をされている方、 子育てサークル等で活動されている方、 子育て支援に関心のある方(学生)、子育て中の保護者等 (4) 自団体 HP、FB、ブログ、会報、チラシ 行政 広報掲載、子育て支援会報掲載</p>
<p>5 事業実施により得られた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現役の子育てママの意見を行政担当課に届けることができた。 ・今回の参加者は来年度以降の事業にも参加を表明しており、新しいサークル設立の基盤作りとなった。 ・今回参加した子育て支援関連 NP05 団体で「武豊町子育て支援ネットワーク」を設立できた。 ・情報提供の在り方として、紙面だけではなくインターネット媒体でより、リアルな情報発信が必要だということから、次年度への事業提案が浮かび上がった。
<p>6 次年度以降の事業展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面には載せきれなかった情報、よりリアルタイムな情報提供、色々な事情を抱える保護者に向けて、サイトの開設を行いたい。 ・今回の参加者である現役ママと「武豊町子育て支援ネットワーク」と協力し、子育て支援を充実していきたい。
<p>7 その他</p>	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。

施設

- ・ 北部支援センターの使い勝手が悪い
（保育園併設なので、使えない日があったり、車が停めれなかったりする）
→ 支援センターだけ独立した建物だと使いやすい
- ・ お昼しまってしまう（12~13時は建物からでなくてはいけない）
→ ランチルームがあるといい
- ・ 南部支援センターは児童館との行き来が厳しく、使いづらい（利用者が少なく人がいない）
→ 小さい子をもつママの気持ちになって考えてほしい
- ・ 役場で書類を書いたりする時に子どもがぐずる
→ キッズスペースや託児ルームがあるといい
静かな音楽がかかっていると気がまぎれる
- ・ 保育園での延長の時の子どもの様子がわからない
→ 利用する前に見学ができればいい
- ・ 子育て支援センターが町の端にしかない
→ 役場の近くにあったらいい（歩いて行けるところにほしい）
- ・ 児童館のあく時間が遅い
→ 子どもを保育園に送って行ってそのまま行きたいのに、10時まで開かない
- ・ 2人未就園児がいると遊ぶ場所がない
→ よちよちの子と走り回る子、両方を遊ばせることができる場所が欲しい

居場所

- ・ 土日遊べる場所があまりない
→ 支援センターを土日開けてほしい。時間ももっと長いといいのに
- ・ 日曜企画がもっとあると嬉しい（パパのために）
→ 遊び方を学ぶ講座があるといい（ベビーマッサージなど）
- ・ 子育てママとの出会いの場が少ない
→ 保育園や健診で話すきっかけを作してほしい（話す場を作してほしい）

環境（道路、公園など）

- ・ 踏切がぼこぼこしていて危ない（ベビーカーの車輪がはまる）
→ 歩行者が通る場所だけでもきれいにしてほしい
- ・ 支援施設の周りの歩道が危険
→ ベビーカーや散歩しながら行きたいので、歩道をきれいにしてほしい
→ 放置自転車、お店のものが道まではみ出しているなど注意してほしい
- ・ 公園が古くて手入れされていないので危ない
→ 子どもが安全に遊べるようにしてほしい
ボール投げが禁止と書いてあるが、小さい子ぐらいは大目に見てほしい
出入り口に子どもが飛び出さないように、柵をつけてほしい（大きい子も通りやすい）
- ・ 自転車の練習をする安全な場所がない
→ 自転車をのることができる公園が欲しい

預ける

- ・ 病気の時の子どもの預け先
- ・ 子どもの一時預かりがない?
→ 支援センターで子どもを預かってくれるといい (ファミサポも使いやすい)
- ・ ファミサポに登録してあるけれども、子どもが泣くのがわかっているのに遠慮してしまう
利用するにはハードルが高い
あまり子どもを預けているという話を聞かない
→ ネットなどで利用者の体験談などを掲載するといい

健診

- ・ 健診の時間が午後なので子どもが眠くてぐずる。行くのが億劫
→ 健診の時間を午前中にしてほしい
- ・ 健診の時、待ち時間が退屈、気まずい、長い
→ このような座談会をやってくれるとしゃべりやすい (いろいろな意見がやすい)

情報

- ・ 子どもが小さいときは孤独感、閉そく感をとても感じた
→ もっとネットをうまく使って、Q&A や体験談を載せる
メールで相談できるようにする (顔が見えない、しゃべる緊張がないので相談しやすい)
生まれただばかりの時の訪問をもっと上手にしてほしい
- ・ 情報が欲しい (どこで入手できるのかわからない)
→ 未就園児向けのメールマガジンが欲しい
広報は見ないので (家に届かない) 情報紙をスーパーに置くといい
- ・ 意見を言う場所がわからない
→ 意見箱があるといいかも
こういう場所をもっとわかりやすくなってほしい
- ・ ちょっと先の情報が欲しい
→ 1, 2 歳子どもが大きいママと話をする場所がほしい
- ・ ホームページがわかりにくい
→ 子どもが小さくてパタパタしていると、ゆっくり見る時間がないので、パッとわかるようにしてほしい。

ママ友

- ・ 仕事のために子どもを保育園に入れてしまうと、ママとの交流がない
(小学校に入っても、ママグループができてしまっていてはい入りづらい)
- ・ ママ友とのお付き合いが難しい

金銭面

- ・ 金銭面での心配
→ チャイルドシートや子どもを乗せれる自転車、電動自転車の貸し出し、子ども用自転車譲ります
不用品の交換、バザーを行う (不用品提供掲示板など)
服の無料リサイクルを支援センターで行う

施設

北部支援センター

- ・お昼しまってしまう（12~13時は建物からでなくてはいけない）
→ランチルームがあるといい
- ・廊下で子どもにパンを食べさせている親がいる
→親のマナーの指導もしなくてはいけない

南部支援センター

- ・ランチルームはあるけれど利用しづらい
- ・職員の態度がきつい（ランチの時間に部屋から少しでも出ると厳しく注意される）
→初めて利用したママは怖いので利用しなくなる
→マナーを守らない親と職員の伝え方のバランスが難しい
- ・職員がスタッフルームからほとんど出てこない
→職員のスキルアップ

情報

誰もが見てわかるように、視覚的にわかりやすいモノがよい
武豊町のHPもとても見づらいので、もっと見やすくしてほしい
自治会に加入していないと広報がなく、ママ友がいなくて情報がほとんどない
→健診で座談会を開いたりして、支援センターや児童館の紹介、ママ友作りができるとうい
「ちょっとこのイベント行ってみない？」と誘いあって行けるようなイベントなどを検索できる
サイトがあるといい
スマホ向けサイトの充実（出てこられないママのためにも）

居場所

大人数で気軽に集まれる場所がない
出身がこのあたりでないと既存のグループに入りづらい
リサイクルなど生活に密着した、お母さんの息抜きになるような場所がほしい
おじいちゃん、おばあちゃんが近くにいない子と一緒に遊ぶ機会がほしい
（おじいちゃん、おばあちゃんも子どもにエネルギーをもらえる）

預け先

ファミリーサポートセンター

どんな人がどんなふうに預けているのかわからない
→体験談などがHPなどで公開してあるとよい
登録は役場だけではなく、支援センターなどでもできるとよい
交流会は土日開催で、自営業で土日仕事があると参加できない
武豊は窓口行政なので気軽に使いづらい
→他の町ではNPOが運営しているところがある。
イベントでPRしたりしてとても気軽に利用しやすい感じだった

イベント

最初の一步が踏み出せないお母さんもいるので、イベントがきっかけによい

(障がいの子を持つ親、転入してきた親など)

おじいちゃん、おばあちゃんも楽しめる、子どもを見てくれる人が増え、楽しむことができる

「〇〇公園フリーマーケット」など、小さな規模でいいのでママが気軽に楽しめるもの

→小さなイベントでよく顔を合わせることも必要

(PakaPaka で座談会、フリマを 10 月 2 回開催。来場者は少なかったがとても喜んでもらった)

連携

・児童館と支援センター

幅広いエリア、年齢の利用が可能になる

児童館も時間帯で年齢を分けて使いやすくするとよい

今ある施設を有効利用する

・児童館と学校

代休で月曜日が休みのときは、児童館を開ける

・役場とボランティア

保育園入園手続きなど、時間のかかる手続きがあるときに、その場で子どもの見守り

支援

サポートばかりでなく、利用者が自分で考えて行動するように導くことが必要

人任せにするのではなく、利用者が主体となるように

情報紙に掲載できる内容 →種別色分け、ナンバリング、アイコンの活用

•公共施設		
支援センター 児童館 保育園 小学校 中学校	保健センター 図書館 ゆめたろうプラザ 体育館 公民館	何時から開いているか 設備の情報 情報の場所
•病院		
予防接種OK 小児科 歯医者	耳鼻科・眼科 整形外科・皮膚科 休日診療	子どもを連れていきやすい 託児つき
•公園		
ボールの使用 砂場 トイレ	自転車の使用 遊具(適齢)	年齢によって公園を選ぶ
•交通機関		
駅	バス停(巡回バス)	
•店		
子連れOKの飲食店 キッズスペース	授乳 オムツかえ	子どもに寛大
•障がいのある子のために		
理解がある人 相談場所	トイレ 安心して活用	ゆめじろう、わっぱる、PakaPaka、 社会福祉協議会、ほがらか企画
•不登校の子のために		
学校情報 支援者	相談先	社会福祉協議会、朴の会
•託児		
ファミサポ情報 民間の託児施設	一時預かり 長期休暇の預かり	病気の時に預かってくれるところ・人
•安全マップ		
避難場所	危険箇所	
•イベント情報		
地図 リアルタイム情報	わかりやすい	時間、場所、設備がわかると行きやすい
•その他		
無料で遊べる場所 子ども連れOKな教室、サークル ゆめたろうカードが使えるお店	雨でも遊べる場所	

武豊町の情報が欲しい

- 自然がいっぱい残っていて遊べる場所
- 動物と触れ合える場所
- ドッグランができる(小動物と触れ合える)
- おじいちゃん、おばあちゃんと遊べる場所
- 放課後、安心して過ごせる場所
- 交流できる場所
- 情報発信できる場所
- 情報交換できる場所

→ 武豊町の子育て支援サイトがほしい

- 紙媒体では掲載できる情報に限界がある
- 紙の情報は古いものがある
- リアルタイムな情報がほしい
- 空いた時間に見れる
- 引っ越す前に情報収集
- 里帰り出産している母親
- 孤立化を防ぐ
- 欲しい情報がすぐに見つかる